

公開講演会

北朝鮮をどう考えるべきか

—訪朝した研究者が偏見ない視点から—



2012年 **12月16日** (日) 13:30~17:30

徳島大学常三島キャンパス・共通教育4号館2階201教室
入場無料・駐車場有(無料)



内容:

北朝鮮では今年4月に若い金正恩氏が政権を継承し、動向が注目されています。拉致、核・ミサイル、戦後賠償、貧困、専制など問題は山積していますが、どのように向き合えばいいのでしょうか。この節目の時期に訪朝した3人の研究者が、偏見のない合理的な発想で、北朝鮮問題の本質を説きます。

総田芳憲氏プロフィール

かせだ・よしのり。専門分野は国際政治(特に北東アジア)。米国ノーザン・イリノイ大学大学院卒(政治学博士)。訪朝経験5回。

- 13:30 開場
- 14:00 主催者あいさつ
- 14:10 訪朝報告1「政治学の視点から」
饗場和彦(徳島大学総合科学部・教授)
- 14:50 訪朝報告2「経済学の視点から」
水島多喜男(徳島大学総合科学部・教授)
- 15:30 休憩
- 15:40 講演「日朝・米朝関係の虚像と実像」
総田芳憲(北九州市立大学外国語学部・准教授)
- 17:00 討論・質疑応答
- 17:30 終了

主催：徳島大学総合科学部国際政治学研究室／同地域交流支援室

問い合わせ：同研究室 088-656-7186、aibak@ias.tokushima-u.ac.jp